

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	敬愛大学
設置者名	学校法人千葉敬愛学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
経済学部	経済学科	夜・通信		5	40	40	13	
	経営学科	夜・通信			52	52	13	
国際学部	国際学科	夜・通信			32	32	13	
	こども教育学科	夜・通信			8	8	13	
教育学部	こども教育学科				59	59	13	
情報マネジメント学部	情報マネジメント学科				25	25	13	
(備考) 2021年度、教育学部こども教育学科を設置。これにより、国際学部こども教育学科は募集停止。国際学部こども教育学科の2026年度在学学生は4年生(過年度生)のみ。2025年度、情報マネジメント学部情報マネジメント学科を設置。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ポータルサイト (Keiai campus navigator) に Web シラバス として 公表 https://kcn.u-keiai.ac.jp/uprx/ ゲストユーザーとしてログインすることで外部からも閲覧可能。 抽出は、シラバス照会→シラバス検索“キーワード”に「実務経験」と入力。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 情報マネジメント学部
(困難である理由) 上記1. (備考) の通り 2025 年度に同学部を設置したため。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	敬愛大学
設置者名	学校法人千葉敬愛学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページによる公表 https://gakuen.u-keiai.ac.jp/corporation/official/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現職) 銀行顧問	2026 年 4 月 ～2030 年 3 月	法人運営・学校経営 に関する助言
非常勤	(前職) 高等学校校長	2024 年 4 月 ～2028 年 3 月	法人運営・学校経営 に関する助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	敬愛大学
設置者名	学校法人千葉敬愛学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 本学では翌年度の開講科目、担当教員が確定する毎年12月頃に学内ポータルサイト上に公開するWebシラバスの入稿を依頼している。シラバスには、授業の進め方(履修条件、試験やレポートなどの課題のフィードバックを含め)及び内容、授業のねらい・到達目標・実務経験と授業の関連性・DP, CPに於ける位置づけ、成績評価方法と割合、アクティブ・ラーニングの手法を記載している。また、依頼に際しては教務部委員会が監修したシラバス作成上の注意事項等を明示した資料「シラバス執筆ガイドライン」「シラバス作成例およびチェックポイント」を配付し、全学的に注意事項の共通理解を図っている。 入稿されたシラバスは各学部で教務委員がガイドライン、チェックポイントに照らして内容を確認し、必要に応じて加筆修正を指示している。これらの加筆修正作業を終えて、前期ガイダンスが行われる3月末には学内ポータルサイト上に配信し、学生が閲覧できるようにしている。	
授業計画書の公表方法	本学ポータルサイト(Keiai campus navigator)にWebシラバスとして公表 https://kcn.u-keiai.ac.jp/uprx/up/bs/bsc005/Bsc00501.xhtml ゲストユーザーとしてログインすることで外部からも閲覧可能。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスに「授業のねらい」「到達目標」「成績評価方法」ならびに到達目標に対する5段階の判定基準による「評価基準」を明示している。また、事前・事後の学修に必要な内容、時間数も明示している。多くの科目で振り返りとしてリアクションシートを提出させており、各回行われた授業の理解度、参加度を測定し学生の学習意欲の把握に努めている。また学習成果は科目ごとに定める試験、レポート等の適切な成績評価方法により測定され、評価基準に沿って厳格かつ適正に単位認定が行われている。更に2026年度より「GAKUEN UNIVERSAL PASSPORT RX 学習ポートフォリオ」を導入し、学修成果の可視化を図る。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価にかかる客観的な指標として全学部で GPA 制度を採用している。GPA はセメスターごとに各学生に公表しており、自身の学修への取り組み状況を把握した上で4年間の学修計画を具体的に策定する際の指針となるようにしている。

指標の具体的な内容については、学生には学生便覧「CAMPUS LIFE」において、学外にはホームページにより公表している。

また、成績の分布状況について、演習科目と演習科目以外の状況を各教員毎に把握し、各学部内での共有及び各教員への個別フィードバック等による適切な成績評価に努めている。

・成績評価

成績	成績表記	G P A
90～100点	秀	4.0
80～89点	優	3.0
70～79点	良	2.0
60～69点	可	1.0
59点以下	不可	0

・計算方法

4.0×秀の修得単位数+3.0×優の修得単位数+2.0×良の修得単位数+1.0×可の修得単位数／総履修登録単位数

GPA については修学指導に際しても利用しており、教務委員会が定める修得単位数、GPA の基準を下回る学生をセメスターごとに行われる修学指導の対象としている。

客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページで公表 https://www.u-keiai.ac.jp/outline-disclosure/information/koukai/
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

大学全体で統一されたディプロマ・ポリシーを策定し、全教職員が「敬愛大学教育憲章」の下で学修支援、教育目標の達成に取り組んでいる。さらに大学全体の方針を実体化させるために学部学科においてもディプロマ・ポリシーを策定している。

(大学統一ディプロマ・ポリシー)

敬愛大学教育憲章で示された「敬天愛人」の建学の精神に基づく総合的人間力を持つ人材として、所定の単位を修得し、以下の到達目標実現のための努力を惜しまない学生に対して卒業を認定し、学士の学位を授与する。

- ・知識と教養

健全な倫理観と豊かな人間性を形成するための知識と教養をもった人材

- ・専門性に基づく思考力・判断力

社会における諸課題を発見・探求・解決し、社会の発展に貢献できる人材

- ・多様性の理解と協働性の実践

多様な人々とコミュニケーションし、協働できる人材

(経済学部経済学科ディプロマ・ポリシー)

内外の経済情勢を広く学び、経済学的思考力と豊かな人間性を身に付け、建学の精神「敬天愛人」に基づき社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的としている。この教育目的を達成するため設置されたコースごとの専門教育課程に則り、所定の科目を履修・修得したものに対して、学士（経済学）を授与する。

1. 社会科学を基軸とした幅広い教養を深めるとともに、経済学の知識を基に社会の発展に活かす良識を身につける。
2. 経済社会の問題に関する情報を主体的に収集、分析し、問題の解決策を論理的に述べられる表現力・コミュニケーション能力を修得する。
3. 経済学を体系的に理解し、数値データをもとに経済の現状を捉える手法を修得することで、経済学的な思考に基づく適切な判断力を身につける
4. 社会問題への関心と創造力を涵養し、未知の課題に立ち向かうことができ、様々な人々と協調して経済活動を行うことができる社会人になる。

(経済学部経営学科ディプロマ・ポリシー)

グローバルに展開する企業や、千葉県などの地域密着型の企業で活躍できる人材として、建学の精神である「敬天愛人」の心構えを持ち、経営学に関する幅広い知識だけではなく、実践的な現場対応力も身に付け、グローバルとローカルという2つの地域的視点で組織をマネジメントできる人材を養成することを目的としている。この目的を達成するために、以下の5項目の到達目標を定め、これら5項目の目標達成のために配置された所定の科目を履修・修得した者に対して、学士（経営学）を授与する。

- 1 社会人として必要かつ健全な倫理観と一般的教養を身に付け行動できる

2. 経営学の基本的な知識に基づき、企業人として求められる思考力を身に付け行動できる
3. コースごとに設置された専門分野の知識に基づき、企業人として求められる思考力を身に付け行動できる
4. 思考・判断・実践する力を身に付けた企業人として変化に対応する力を身につける
5. 多様性を理解し高いコミュニケーション力で、協働して目的を達成する力を身につける

(国際学部国際学科ディプロマ・ポリシー)

急速にグローバル化が進む世界の中で、建学の精神である「敬天愛人」の理念の下、多様な文化を理解し、国際的な視点から日本及び地域社会で協働し、その発展に貢献できる人材を育てる。コミュニケーション能力を高め、日本や諸外国・地域の歴史や文化、現代社会における諸問題について、国内外での能動的学修(アクティブラーニング)を重視する学びを通して、論理的な思考力と課題の発見・探求・解決に向けた実践力を身につけることを目的とする。この教育目的を達成するために、以下の5項目の到達目標を定め、これらの目標到達のために配置された所定の科目を履修・修得した者に対して、学士(国際学)を授与する。

1. コミュニケーション能力、および高度な英語の運用能力を身につける
2. 国際的な視野で多様な価値観を持つ共生社会の課題に取り組む能力を身につける
3. 卒業後の進路目標に応じた専門知識を体系的に身につける
4. 社会で協働し、その発展に貢献できる力を身につける
5. デジタル革新により、新たな価値を創造する社会で協働し、その発展に貢献できる能力を身につける

(教育学部こども教育学科ディプロマ・ポリシー)

幅広い教養と教育に関する深い専門的知見を兼ね備えたうえで、よりよい社会の形成に寄与しようとする意欲をもつ人材の養成を目指す。また、人間の成長と発達に関する学問分野に基礎を置き、様々な社会や環境において主体的に生きる人間と、その人間が果たす役割、行動や思考、人間と人間の関わり合いやコミュニケーションを研究する。これを達成するために設置された所定の科目を履修・修得した者に対して、学士(教育学)を授与する。

1. 子供を総合的に理解し、教育の専門性を身につける
子供の成長や発達等について専門的な知識を学び、子供の教育について理解を深め、実践する力を身につける。さらに教職を目指す学生として日々研鑽と修養に努め、学び続ける生き方を身につける。
2. 国際社会を理解し、多様な価値観を認める力を身につける
子供を取り巻く環境および国際社会への理解を深め、多様な文化や価値観が存在することを認めながら、SDG s の実践者として他者とも共生する力を身につける。

3. 豊かなコミュニケーション能力を身につける
グローバル化した情報化社会に対応するコミュニケーション能力を培い、ICT 活用に習熟し、子供に英語の指導をする力を身につける。また、日本語の支援を必要とする子供に対しては、専門的な知識に基づいて指導する力を身につける。
4. 実践的活動を通して地域に貢献する力を身につける
「ちば！教職たまごプロジェクト(千葉県教育委員会・千葉市教育委員会主催)」や「千葉市教育ボランティア(千葉市教育委員会主催)」等に参加し、実践的活動の中で、問題解決をしながら人々と交流し、学んだ知識や技能を生かして積極的に地域に貢献する力を身につける。

(情報マネジメント学部情報マネジメント学科のディプロマ・ポリシー)
建学の精神「敬天愛人」に基づき幅広い教養基盤に支えられた豊かな人間性を身につけるとともに、最新の情報科学技術とデータを使い社会の課題解決・価値創造に貢献できる人材を育成することを目的としている。この教育目標を達成するために、以下の 4 項目の達成目標を定め、これらの達成目標のために配置された所定の科目を履修・修得したものに対して、学士(情報マネジメント学)を授与する。

1. 社会人として必要な幅広い教養基盤に支えられた豊かな人間性や社会性と高い倫理観を身につける
2. 経済・経営の理論を理解し、問題発見のために情報を主体的に収集、分析し、問題解決策を論理的に述べられる表現能力・コミュニケーション能力を身につける
3. 情報科学技術の進歩を理解するとともに、AI の技術の利活用やデータを使いながら社会問題を解決する能力を身につける
4. 多様な社会の存在を理解し、その多様な社会のなかで共に協力して目的を達成する力を身につける

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学生便覧 (CAMPUS LIFE) への掲載。
ホームページで公表。
https://www.u-keiai.ac.jp/economics/educational_p/diploma/
https://www.u-keiai.ac.jp/international/educational_p/diploma/
https://www.u-keiai.ac.jp/education/educational_p/diploma/
https://www.u-keiai.ac.jp/info-management/info-management1_p/diploma/

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学部等名	経済学部	国際学部	教育学部	情報マネジメント学部
教育研究上の目的（公表方法： ホームページで公表 ）				
https://www.u-keiai.ac.jp/outline-disclosure/information/koukai/				

(概要) 敬愛大学は建学の精神「敬天愛人」に基づき、教育基本法及び学校教育法に則り広く知識を授け、深く専門の学芸を教授・研究し、知的・道徳的及び応用的能力を展開する大学教育を施し、もって文化の進展に寄与する有為の社会人を養成することを目的とする。 学部学科ごとの人材育成に関する目的は、次のとおりとする。 経済学部経済学科は、経済学に関する幅広い知識を修得し、実社会で応用できる表現力、コミュニケーション能力、情報収集能力及び経済学的思考力をもって、広く社会に貢献できる人材を育成する。 経済学部経営学科は、経営学に関する幅広い知識を修得し、実践的なマネジメント能力及びグローバルな視野を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成する。 国際学部国際学科は、国際社会を多角的に理解し、変化する現代を生き抜く力を身につけ、高いコミュニケーション能力を培い、グローバル化する地域社会に貢献できる人材を育成する。 教育学部こども教育学科は、幅広く深い教養と豊かな人間性及び子供の教育に関する知識と技能の修得を基盤として、それを活用することができる実践能力に加えて、教育事象を科学的・実証的に考察し、その成果を子供の健全な育成に活かすことのできる人材を育成する。 情報マネジメント学部情報マネジメント学科は、経営情報学分野に関する教育研究を通して、現代社会に関する幅広い知識の理解と自己表現や情報活用に関する能力及び社会の一員として望ましい心構えや生涯学習力の修得とともに、事業体の運営や管理に関する知識に加えて、情報処理の原理を科学的に理解し、情報システムの利用による経営内外の関連データを経営戦略の策定や実現のために活用することができる能力を有した人材を育成する。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：ホームページで公表、学生便覧「CAMPUS LIFE」への掲載) https://www.u-keiai.ac.jp/economics/educational_p/diploma/ https://www.u-keiai.ac.jp/international/educational_p/diploma/ https://www.u-keiai.ac.jp/education/educational_p/diploma/ https://www.u-keiai.ac.jp/info-management/info-managementl_p/diploma/
(概要) 敬愛大学教育憲章で示された建学の精神「敬天愛人」に基づく総合的人間力を持つ人材として、所定の単位を修得し、「知識と教養」「専門性に基づく思考力・判断力」「多様性の理解と協働性の実践」の到達目標を実現するための努力を惜しまない学生に対して卒業を認定し、学士の学位を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表） https://www.u-keiai.ac.jp/economics/educational_p/curriculum/ https://www.u-keiai.ac.jp/international/educational_p/curriculum/ https://www.u-keiai.ac.jp/education/educational_p/curriculum/ https://www.u-keiai.ac.jp/info-management/info-managementl_p/curriculum/
(概要) 経済学部ではディプロマ・ポリシーに基づき、教育課程の編成・実施を行う。シラバスによって各科目の内容と位置付けを明確にし、学生に周知するとともに、セメスターごとに単位取得・成績評価状況に対応して教員と職員が一体となったきめ細やかな学修支援を行う。また、主体的な学びにつなげるため、積極的にアクティブ・ラーニングを取り入れる。 多様な背景を持つ学生の受け入れに対応するため、大学生として必要な知識や技能を能動的に身に付けるための基礎科目を1年次に必修として配置する。 国際学部では1年次から4年次まで少人数のゼミを開講し、大学での学びの道しるべとしている。大学生として必要な基本的な知識や技能を能動的に身につけるため、1年次に教養科目、外国語科目、情報基礎科目を開講する。国際学科では2年進級時に、各自の関心に合わせて「英語コミュニケーションコース」「国際ビジネスコース」のいずれかを選び、専門科目については自専攻から1/2以上履修する。また、自コースの科目に偏らず、他コ

ースの科目もできるだけ履修し、幅広い知識の習得を目指す。

教育学部ではディプロマ・ポリシーに基づき、各科目の内容や位置づけが学生に周知され、教職員が一体となり単位修得や成績評価の状況に応じて、きめ細やかな学修支援を行う。学生の主体性や意欲を引き出すアクティブ・ラーニングや実践的活動を多く取り入れている。

情報マネジメント学部では経済・経営の視点を中心に多様な社会を理解し、その社会を情報・データに関連づけながら理解するために、専門科目（導入科目）を1年次からの必修科目、専門科目（基礎科目）を2年次からの選択科目として配置。これら経営情報分野に収斂していくそれぞれの科目の理論を学び知識を身につけ、その理論・知識にもとづいて社会の課題をデータから発見した内容を、論理的に表現し、コミュニケーション能力を高めるために基礎科目（基本科目）を1年次から配置している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページへの掲載）

<https://www.u-keiai.ac.jp/juken/outline/admission-policy/>

（概要）

建学の精神である「敬天愛人」の理念の下、健全な倫理観と豊かな人間性を形成するための知識と教養をもち、社会における諸課題を発見・探究・解決し、社会の発展に貢献でき、多様な人々とコミュニケーションし、協働できる人材を育成することを目的とする。敬愛大学は、大学教育を受けるための基礎的な学力を有し、建学の精神である「敬天愛人」の理解に努め、社会で幅広く活躍したいと望む人物を、日本および国際社会に対し広く求める。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページへの掲載

<https://www.u-keiai.ac.jp/outline-disclosure/information/koukai/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2 人	－					2 人
経済学部	－	21 人	5 人	4 人	人	人	30 人
国際学部	－	7 人	3 人	人	人	人	10 人
教育学部	－	9 人	5 人	1 人	人	人	15 人
情報マネジメント学部	－	8 人	3 人	人	人	人	11 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		91 人					91 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学ホームページへの掲載					
		https://www.u-keiai.ac.jp/economics/teacher/economy/					
		https://www.u-keiai.ac.jp/economics/teacher/management/					
		https://www.u-keiai.ac.jp/international/teacher/inter-study/					
		https://www.u-keiai.ac.jp/education/teacher/child-subject/					
		https://www.u-keiai.ac.jp/info-management/teacher/im-dept/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
毎年、FD委員会の企画による全教職員を対象としたFDを複数回開催している。その内容は学生支援、教育支援、研究支援と多岐にわたり、外部有識者、専任教員、職員が講師を務めている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に關すること

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	260 人	291 人	111.9%	1,015 人	1,055 人	103.9%	4 人	3 人
国際学部	98 人	82 人	83.7%	397 人	341 人	85.9%	2 人	1 人
教育学部	72 人	116 人	161.1%	293 人	334 人	114.0%	2 人	3 人
情報マネジメント学部	50 人	52 人	104.0%	100 人	82 人	82.0%	0 人	0 人
合計	480 人	541 人	112.7%	1,805 人	1,812 人	100.4%	8 人	7 人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済学部	234 人 (100%)	1 人 (0.4%)	200 人 (85.5%)	33 人 (14.1%)
国際学部	91 人 (100%)	0 人 (0%)	69 人 (75.8%)	22 人 (24.2%)
教育学部	70 人 (100%)	1 人 (1.42%)	64 人 (91.4%)	5 人 (7.14%)
合計	395 人 (100%)	2 人 (0.5%)	333 人 (84.3%)	60 人 (15.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
毎年度、シラバスにより「授業のねらい」「到達目標」「授業の進め方」「アクティブ・ラーニングの手法」「成績評価方法」「評価基準」「授業内容」を周知している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) シラバスに「授業のねらい」「到達目標」「成績評価方法」ならびに到達目標に対する５段階の判定基準による「評価基準」を明示している。また、事前・事後の学修に必要な内容、時間数も明示している。学修成果の把握は科目ごとに定める試験、レポート等の適切な成績評価方法により行われ、評価基準に沿って厳格かつ適正に単位認定が行われている。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	124 単位	⑦・無	1～3 年 42 単位 4 年 46 単位
	経営学科	124 単位	⑦・無	1～3 年 42 単位 4 年 46 単位
国際学部	国際学科	124 単位	⑦・無	1～3 年 42 単位 4 年 46 単位
	こども教育学科	124 単位	⑦・無	4 年 46 単位
教育学部	こども教育学科	124 単位	⑦・無	1～4 年 42 単位
情報マネジメント学部	情報マネジメント学科	124 単位	⑦・無	1 年 42 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページで公表
<https://www.u-keiai.ac.jp/campuslife/map/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
経済学部	経済学科	780,000 円	250,000 円	310,000 円	その他：施設費 施設費：280,000 円（2024 年度 入学者）、250,000 円（2021～ 2023 年度入学者）、240,000 円 （2020 年度以前入学者） 授業料（年間）：760,000 円 （2020 年度以前入学者）
	経営学科	780,000 円	250,000 円	310,000 円	その他：施設費 施設費：280,000 円（2024 年度 入学者）、250,000 円（2021～ 2023 年度入学者）、240,000 円 （2020 年度以前入学者） 授業料（年間）：760,000 円 （2020 年度以前入学者）
国際学部	国際学科	780,000 円	250,000 円	310,000 円	その他：施設費 施設費：280,000 円（2024 年度 入学者）、250,000 円（2021～ 2023 年度入学者）、240,000 円 （2020 年度以前入学者） 授業料（年間）：760,000 円 （2020 年度以前入学者）
	こども 教育学科	760,000 円	250,000 円	240,000 円	募集停止のため過年度生が在 学。 その他：施設費
教育学部	こども 教育学科	800,000 円	250,000 円	310,000 円	その他：施設費 施設費：280,000 円（2024 年度 入学者）、250,000 円（2021～ 2023 年度入学者）
情報マネジメント学部	情報マネジメント学科	800,000 円	250,000 円	310,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）年度当初には学部別に新生の履修ガイダンスを実施し、カリキュラム、卒業要件、シラバスの見方、履修登録について説明する。さらにゼミ別に担当教員の下で時間割作成の指導を行う。授業開始に際しては修学支援室職員による履修相談の機会を設け、不安なく授業に臨むことができるよう支援している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要）社会・ビジネスに必要な社会人基礎力を”チバイチバン”力と設定し、4年間で身につけるためのキャリア教育を実践している。1年次から段階的に積み重ね、3年次にはインターンシップを正課科目として実施し職業観の涵養を図っている。また、就職フェア・学内選考会を開催し、ターゲットを明確にした就職活動を推奨している。さらにキャリアカウンセラーによる履歴書添削・面接練習など就職活動を全面的にサポートしている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）学生支援室は、配慮を必要とする学生を含めた学生相談受付窓口となっており、相談内容に応じた支援や学生相談室又は他部署への誘導等を行っている。保健室では、「応急処置」「健康相談」「健康診断」「保健指導」「その他の保健」に関する健康管理のサポートを行っている。学生相談室では、学生が抱える様々な諸問題を解決するために、臨床心理士および相談員を配置し、個別の対応を行っている。また、「こころの謙虚調査」の実施や、教員および他部署との連携等により、メンタルヘルスに課題を抱える学生の早期発見に努めている。相談方法は、対面以外に電話、メール、ZOOMでの相談も受け付けている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページで公表 https://www.u-keiai.ac.jp/outline-disclosure/information/koukai/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。